



年頭の挨拶

院長 大島 哲



皆様、明けましておめでとうございます。

昨年同様天候にも恵まれ、平穏な年明けでありました。年末年始に勤務された職員の皆様、関係者の皆様ありがとうございました。心より感謝申し上げます。

1月3日(木)に高尾山に登ってきました。さほど寒くもなくよく晴れていて、多くの参拝者と一緒に参拝いたしました。府中療育センターの今年の平穏と発展を祈願してまいりました。翌4日(金)には知事の年頭のあいさつを聞いてまいりました。今年は、平成が終わり新しい元号となる節目の年です。働き方改革に呼応し、ライフワークバランスを一層推し進めるとのことでした。そして、今年の干支にちなみ「猪突猛進」、それぞれの目標に準備怠りなく、邁進してほしいと言葉を継がれました。

さて、昨年当センターは開設50年を迎えました。10月には、第10回府中療育センター祭とともに開設50周年記念祭を挙行之、多数来院いただきました。「療育50年のあゆみ」も刊行いたしました。先達がたの並々ならぬ努力のかいあって順調に運営されていますが、センターのおかれた状況も変化しています。利用者はますます高齢化、重症化し、亡くられる利用者も増加してきています。医療・ケアもこれに対応していかなくてはなりません。そのため、職種横断的に活躍している各チーム(栄養支援、院内感染制御、緩和ケア、呼吸器サポートなど)は継続、強化していきます。

一昨年3月に着工した新センターは、本年12月に竣工いたします。開設も間近です。準備万端怠りなく着実に歩を進めてまいります。本年も、福祉保健局はじめ、関係者の皆様にご助言、ご助力をいただきながら、信頼される療育・医療を目指していきたいと考えています。今年もよろしくお願いたします。



平成30年度テーマ別改善運動

5-A病棟 野路 祐一

テーマ別改善運動は、職場の活性化や職員同士の意識向上を図り、利用者の方が安全で安心な医療サービスを受けられる環境づくりを推進することを目的として、職員自らがサークルを結成し、職場の身近で具体的な問題の解決に取り組む自主活動です。

今年度、当センターでは11サークルがサービス向上・業務改善等、様々なテーマに取り組み、昨年10月29日(月)の院内発表会において成果を報告しました。5-A病棟は、「誰でも消耗品請求が迷わず短時間でできる」をテーマに、消耗品請求の効率化に取り組みました。具体的な取組内容として、15カ所あった物品の収納場所を管理方法の工夫や整理によって、7カ所に集約しました。その結果、消耗品請求に関わる時間を取組の前と比較し、63%減少させることができました。報告の結果、5-A病棟の「誰でも消耗品請求が迷わず短時間でできる」は、院内最優秀賞を受賞し、当センターの代表サークルとなりました。

そして、1月29日(火)に東京都庁の大会議室において、都立・公社病院、都立重心障害児者施設から選ばれた代表サークルが集まり、今年度の活動を締めくくる「平成30年度テーマ別改善運動発表会 改善提案2019～医療現場での取組～」が行われました。



各代表の発表からは、業務への熱心な取組姿勢が窺われました。当センターの発表は、入賞こそ逃しましたが、審査員からは「業務を効率化し、生じた時間を入所者のケアに充てることができる」等の評価を受けました。利用者の皆さんのケアを行うに当たっては、様々な物品が必要となるため、請求に関わる時間を減少することが出来たことは、利用者に寄り添う時間の増加に繋がります。今後も改善に取り組み、より利用者へ寄り添った療育を提供出来るよう取り組んでいきたいと思いません。

院内発表各賞受賞サークル一覧

	所属	サークル名	テーマ名
最優秀賞	5-A	森の山	誰でも消耗品請求が迷わず短時間でできる
優秀賞	栄養科	レシピーズ	リメンバーミール ～自宅で作れるセンター食～
敢闘賞	1-B	平松さん 出番です！	食事(介助)は美しく 楽しく 安全に
	3-1	湯上がり整え隊	湯上がリケアシート
	4-2	みんなのプライバシー守り隊	親しき仲にも礼儀あり

新春お楽しみ会

2-B 丸山 邦子

1月7日(月)に「樂鼓会」の皆様をお迎えして、新春お楽しみ会を行いました。始まると同時に獅子が現れ、利用者の間を舞って廻りました。舞台では、笛や小太鼓・摺り鉦などのお囃子が揃い、演奏と共にその場でも勇壮に獅子が舞ってくれました。その後、1年間の無病息災を願い、利用者一人ひとりを廻りました。興味があって手を伸ばす利用者、恐る恐る獅子の顔を見る利用者、穏やかな笑みを浮かべる利用者や声を出して笑う利用者など、獅子と対面して楽しまれていました。一枚のスカーフから色の違ったスカーフが出てくる手品などを楽しんだ後は、自由に大太鼓・小太鼓・摺り鉦などを叩かせて頂き、順番待ちの列が出来るほどの盛況振りでした。他病棟の利用者もバチを持って太鼓を叩き、嬉しそうな笑顔が見られました。最後は、獅子舞と共にお囃子の演奏で盛り上がり、お正月の風情をたくさん感じた1日でした。



バスハイク

1-A 保育士

1-A病棟では、1月16日(水)の半日バスハイクで3名の利用者が大國魂神社に行きました。天気も良かったので、駅前の市営駐車場から町並みを楽しみながら歩き、境内を散策し、拝殿の前でお参りをしました。片手を胸の前に出されたり、「んー」と声を出されたり、皆様それぞれにお参りされていました。おみくじを引きたいと希望され、職員と一緒に引きました。大吉や小吉が出て、「待ち人は必ず来る」、「願い事叶う」等と職員が読み上げると、ニコニコ喜んでいました。

その後、本屋やコーヒーショップ等で買物を楽しみ購入した飲物やプリン等は、病棟に帰ってからおいしくいただきました。利用者の皆様の笑顔が沢山みられたり声もよく聞かれたりと、楽しいお出かけになりました。



お正月お楽しみ会

5-A 大塚 好雄

1月16日(水)、5-A病棟では、お正月お楽しみ会を開きました。この日は、テレビや舞台でもおなじみの「ワハハ本舗」前座長の佐藤正宏様をお招きして、昔懐かしい紙芝居を上演して頂きました。利用者の皆さんの前に立たれると、ゆっくりとわかりやすい言葉で自己紹介をしてくださいました。語らいの中に芸能界の面白いお話を織り交ぜてくださり、場内ははじめから大いに盛り上がりました。そして、利用者の皆さんの間を縫うように回り、一人ひとりと笑顔でごあいさつや軽く握手をしてくださいました。

待ちに待った紙芝居の演題は『へっぷりむすこ』です。すべて手書きの絵で発色も美しく、味わい深く利用者の皆さんも見ていただけで楽しくなったことと思います。語り口は時に勇ましく遠くまで声を轟かせ、時におどろおどろしく何事が起きるかと思わせるような声色でした。利用者の皆さんも息をのんだり、大笑いしたりして紙芝居の世界に引き込まれ、お正月らしい舞台を皆で楽しむことができました。大勢のご来場ありがとうございました。



招待観劇

1-B 保育士

1月16日(水)に「からふるぼけっと」のじっきーさんがやって来ました。ピエロパフォーマンスもお話も上手なじっきーさんは、昨年も来ていただき大好評でした。「また会える」と利用者は、朝から楽しみにしていました。大きな声で「じっきーさん」と呼ぶと登場です。大きな技を披露した後は、拍手や声援で盛り上がりました。じっきーさんのお手伝いとして、輪っかを渡す役になった利用者は自分から前に出て積極的に参加していました。最後にツーショット撮影で全員の所を回っていただき、みんなが笑顔になれた企画でした。



〒183-8553
 東京都府中市武蔵台2-9-2
 東京都立府中療育センター
 電話 042 (323) 5115
 Fax 042 (322) 6207

--*ホームページもご覧下さい*-*-*
<http://www.fukushihoken.metro.tokyo.jp/fuchuryo/index.html>